



図書館まつり

6月16日から20日までの1週間、本校の図書室を舞台に「図書館まつり」が行われました。この行事は、図書委員会の児童たちが中心となって計画し、運営したもので、毎日昼休みにさまざまな楽しいイベントが実施されました。

中でも人気だったのは「本さがしゲーム」です。1～3年生は「海のいきもの」、4～6年生は「都道府県」というテーマが設定され、それぞれのテーマに関係する本を図書室の中から探し出すゲームに取り組みました。どの子も夢中になって本棚をめぐり、目当ての本を見つけると、嬉しそうにカードにスタンプをもらっていました。友達同士で相談しながら探す姿も見られ、図書室全体が活気にあふれていました。また、地域の読み聞かせボランティア「マミーブック」さんによる読み聞かせの時間には、低学年の児童を中心にたくさんのおともたちが集まり、お話の世界に引き込まれていました。時には笑い声が上がり、時にはシーンと静まり返るほど、子どもたちが物語に夢中になる様子が見られました。

本に親しむきっかけとなったこの「図書館まつり」を通して、子どもたちの読書への関心が高まるとともに、仲間とともに活動を楽しむ充実感も味わえたことでしょう。図書室が、より身近で楽しい場所として感じられるようになった1週間でした。



マミーブックさんによる昼休みの読み聞かせ
ペープサートを食い入るように見ていました。

4年生 体験活動 田植え

6月25日(水)、4年生が地域の深川様、JA小城の皆様のご協力のもと、田植え体験を行いました。当日はJAの職員の方々をはじめ、地域の皆様、計7名の方々にご指導いただき、子どもたちは貴重な体験をさせていただきました。

田んぼに足を踏み入れるのも初めてという児童が多く、最初はおそるおそるの様子でしたが、苗の植え方を教えていただくと、みんな真剣な表情で一株ずつ丁寧に植えていきました。ぬかるみに足を取られながらも、「うまくできたかな」「お米が育つのが楽しみ!」と、笑顔いっぱいを取り組む姿が印象的でした。

今回の体験は、食の大切さや農業への感謝の気持ちを育む、貴重な学びの機会となりました。このような素晴らしい活動が実現できたのも、地域の皆様のご支援とご協力のおかげです。子どもたちのために事前準備から当日のご指導まで尽力してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



2学期の主な行事予定

9月1日(月) 2学期始業式

下校11:55予定

9月2日(火) 午前中授業

下校11:55予定

9月3日(水) 給食開始

10月10日(金) 前期通知表配布日

10月26日(日) 運動会

10月27日(月) 代休

11月6日(木)～11月7日(金)

6年生 修学旅行

11月7日(金) 1～5年生 バス旅行

11月17日(月) 代休(11/22の分)

11月22日(土) 150周年記念式典

授業参観

12月22日(月) 給食終了日

12月24日(水) 2学期終業式

火災避難訓練

7月2日（水）、全校児童を対象に火災避難訓練を実施しました。今回は、「理科室から火災が発生した」という想定のもと、避難経路や避難の仕方を確認しながら訓練を行いました。当日は朝から強い日差しが照りつける非常に暑い一日でしたので、避難場所は運動場ではなく、より安全に配慮し体育館としました。放送の指示をよく聞き、どの学年の児童も私語を慎み、真剣な表情で落ち着いて避難する姿が見られました。その姿勢は、訓練とはいえ、「自分の命を自分で守る」という意識の表れだったように思います。訓練後には、小城消防署の署員の方から「全員が落ち着いて行動し、素早く避難できていた。とても素晴らしい態度でした。」とおほめの言葉もいただきました。火災はあってはならないことですが、万が一の際に備え、冷静に、そして安全に行動することの大切さを改めて学ぶ機会となりました。今後も、さまざまな危機から自分の命を守る力を育てていけるよう、継続して防災教育を進めてまいります。



命と性の学習 1年 3年

6月12日（木）に県立男女共同参画センターアバンセの諸石加代子さんをお招きして、「命と性の教育」について学習しました。

1年生は「プライベートゾーンについて」3年生は「友だちとの良好な関係づくり」という題目でお話いただきました。1年生には、自分と相手の体を大切にすることができるよう、どんなことに気を付ければいいのかを、また、3年生には自分と相手の心と体を大切にするために、気を付けること、LINEなどのSNSでつながることの危険性などについて話していただきました。子どもたちの感想を見ると、自分や友だちを大切にしたいと感じている子どもたちがたくさんいました。

租税教室 6年生

6月23日（月）、6年生は税理士の徳渕理彦様をお迎えして、租税教室を行いました。社会科の学習の一環として行われたこの授業では、「税金とは何か」から始まり、どのような種類があり、どのように使われているのかを、身近な例を交えてわかりやすく教えていただきました。

子どもたちは、道路や学校、消防、警察、福祉など、普段の生活の中で当たり前のようにあるものが、税金によって支えられていることを知り、驚きや関心の声が上がっていました。また、税金を公平に集め、正しく使うためには、国民一人一人が関心をもち、将来、選挙で投票することの大切さについても教えていただきました。

子どもたちからは、「税金がなかったら生活が不便になることがよくわかった」「自分たちの未来にも関係していると感じた」などの感想が聞かれ、社会のしくみを学ぶよい機会となりました。



【子どもたちの感想より】 一部抜粋

- ・税金の種類は、約50種類ほどあることがわかりました。税金があるから、よりよい生活が送れることがわかりました。
- ・税金で支払われる教育費の多さに驚きました。小学生1人1年間に使われる税金は92万1000円でした。
- ・税金がないと、警察・消防・救急車にもお金がかかると知り、いろいろな私たちの暮らしに税金が重要な役割をしていることを知りました。